

## 第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年10月10日(金)5校時

児 童 2年2組(男11名,女12名 計23名)

指導者 教諭 西城 由美子

1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう

教材名 サンゴの海の生きものたち(本川 達雄 光村図書上)

### 2 単元の目標

- ◎ 海の生き物たちがどのように関わっているのかを読み取り、共生の仕組みの不思議に興味をもつことができる。
- 「海の生きものたち」の共生の仕組みに興味をもち、いろいろな生きものについて調べようとする。(関・意・態)
- 「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読むことができる。(読イ)
- 図書館などの本を読んで、「生きものカード」を作ることができる。(書イ)
- 主述の関係、接続語、文末表現に気をつけて読むことができる。(言イ)

### 3 単元の評価規準

- ◎ 海の生き物たちがどのように関わっているのかを読み取り、共生の仕組みの不思議に興味をもっている。
- 「海の生きものたち」の共生のしくみに興味をもち、いろいろな生きものについて調べようとしている。(関・意・態)
- 「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読もうとしている。(読イ)
- 図書館などの本を読んで、「生きものカード」を作ろうとしている。(書イ)
- 主述の関係、接続語、文末表現に気をつけて読もうとしている。(言イ)

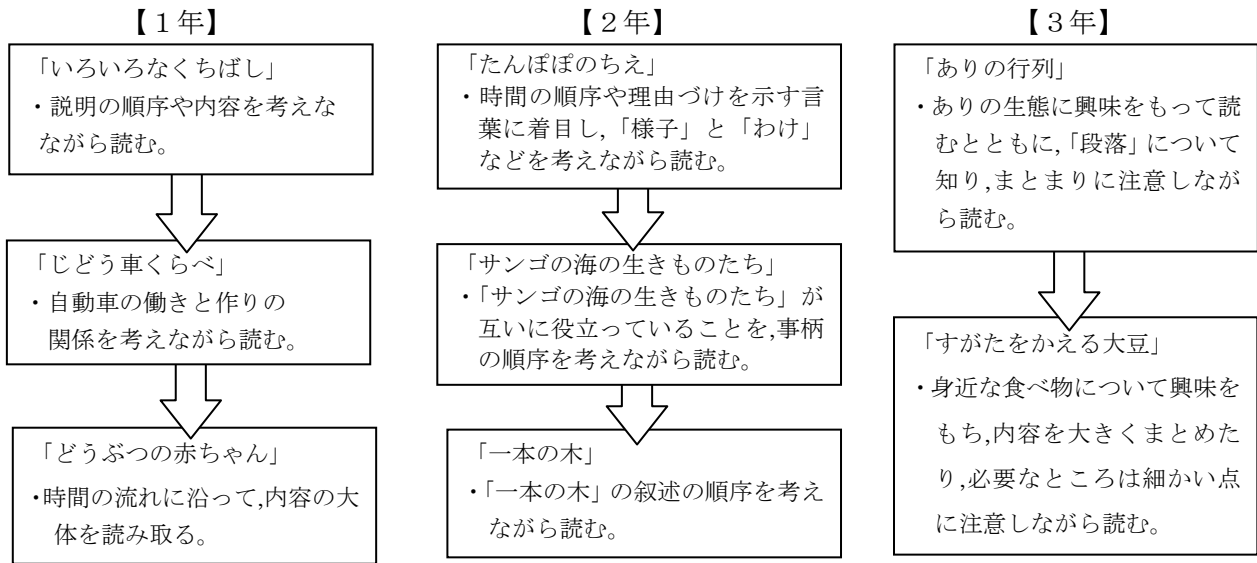
### 4 単元について

#### (1) 教材について

本単元に関わる小学校学習指導要領の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。また、内容としては、「C読むこと(1)イ時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。(1)エ語や文としてのまとまりや内容、響きなどのついて考えながら声に出して読むこと。」である。したがって、「事柄の順序を中心にして理解すること。」「ひとまとまりの語や文として音読すること。」の指導をとおして、内容を的確に読む力や叙述に即して想像豊かに読む力をつけるにふさわしい教材であると考ええる。

この教材は、サンゴ礁の海の生きものたちの関わり合いについて書かれている説明文である。主に、イソギンチャクとクマノミ、ホンソメワケベラと大きな魚の共生の関係について紹介している。また、大きな挿絵が効果的に使われており、児童は関わり合いについてイメージを広げやすく、書かれていることの大体をとらえながら興味をもって楽しく読むことができる。

## (2) これまでの学習との関連



## (3) 児童について

児童は本が好きである。ちょっとした隙間の時間にも、本を手に行っている児童がみられる。その反面、国語の学習に対しては、どちらかというと消極的であることが多い。国語に対して苦手意識をもっている児童も多く、読み取りの学習においては、自分の考えや思いを積極的に挙手し、話そうとする児童は少数であった。また、自分の考えや思いを書く活動においても、「書く」と聞いただけで抵抗を示しがちであった。

このような児童の実態を踏まえ、これまで音読に力を入れて指導をしてきた。はっきりとはりのある声で読めるようにすることにより、読むことに自信と意欲をもたせたいと思ったからである。教材の学習に入る前に、家庭音読を十分に行い、教材の内容をよく把握させたうえで学習に入ることができるように留意した。さらに、自分の考えと思いを自由に発言できる時間をもち、児童のつぶやきを拾いながら学習を進めていくようにした。その結果、「じっくり考えれば分かる」「すらすら読めれば分かる」という自信につながり、積極的に学習に取り組むようになってきている。児童は、「たんぼぼのちえ」の学習を通して、「ちえ」と「わけ」を整理して書く学習や、時間の順序や理由づけを示す言葉に着目しその役割に気づくという学習をしている。また、「ふきのとう」「スイミー」の学習を通して、自分で考えたセリフを言いながら動作化するという活動もしている。

## (4) 指導にあたって

本単元のねらいは、海の生きものたちの共生の様子を知り、大事な点についておさえて読むことである。

本教材では、事柄の順序を考えて読み進めながら、中心的な対象や事柄に着目し生きものたちがどのように関わっているのかを読み取らせ、大まかに「はじめ」「中①」「中②」「おわり」という文章構成を把握させたい。問いかけの文「どんな生きものたちが、どのようなかわり合いをしているのでしょうか。」から、読み進める目的をつかませ、そこに着目させながら共生の関係を読み取っていく。しかし、本教材はこれまで読んできた説明文に比べ、説明がやや複雑になっており、登場する生き物の数も多く、生き物相互の関係もやや入り組んでいる。そのため、中心的な事柄を見つけることのできない児童もいると予想される。「中①」「中②」の指導にあたっては、効果的に読み取りを進めることができると考えられる文を切り口にし、そこから思考を広げていくことにより、生き物相互の関係を読み取らせていきたい。

【研究仮説1「読むこと」の学習指導過程に確かに読むための「書く活動」を取り入れる。】

- ア 海の生きものたちの様子や関わり合いを書くこと。
- イ 海の生きものたちの気持ちを考えて、吹き出しに書くこと。

【研究仮説2「読むこと」に関わる学習技能を身につける活動を工夫する。】

- ア 学習技能として、接続語の意味について指導する。
- イ 学習技能として、理由を説明する文末表現について指導する。

## 5 単元の指導と評価の計画（11時間）

段階	時間	主な学習活動	具体的評価規準 (おおむね満足)	努力を要する児童への支援
つかむ	1	○サンゴの海のイメージを広げ、海の中の生きものについて知り、初めて知ったことなどを発表する ○新出漢字の練習をする。	○サンゴの海のイメージを広げ、海の中の生きものに興味をもっている。 ○新出漢字の読み書きができています。	○海の中の写真からイメージを広げさせる。 ○教材文に出てくる漢字を最初にまとめて学習させる。
	2	○全文を通読して感想をもつ。 ・教材文を読む。 ・題名読みをする。 ・感想を書く。	○サンゴの海の様子を知り、初めて知ったことや不思議に思ったことを書いている。	○教材文の場面を取り出して感想を聞き、おもしろいと思ったところを書くようにさせる。
	3	○学習の計画を立てる。 ・全文を「始め」「中①」「中②」「終わり」に分ける。 ・読んで分かったことや思ったことを発表する。 ・読みのめあてを知る。	○「たんぼぼのちえ」の学習をもとに、全文を4つに分けている。	○挿絵を手がかりにして、4つに分けるようにさせる。
ふかめる	4	○意味段落1（形式段落①②）を読む。 ・読みのめあてを確認しながら全文を音読する。 ・どんな生きものたちが出てきて、何をしているのかを考える。	○話題提示と問いかけの文を見つけている。	○②段落問いかけの文があることに気づかせる。
	5	○意味段落2（形式段落③④）を読む。 ・イソギンチャクとクマノミの体の特徴を読み取る。	○イソギンチャクとクマノミの体の特徴を読み取っている。	○問いかけの文「どんな生きものたちが、・・・しているのでしょうか。」に対する答えを見つけることに気づかせる。
	6	○意味段落2（形式段落⑤⑥）を読む。 ・イソギンチャクとクマノミとの関わり合いを読み取る。	○イソギンチャクとクマノミが助け合って生きていることを読み取っている。	○イソギンチャクとクマノミの気持ちを吹き出しに書かせる。
	7	○意味段落3（形式段落⑦）を読む。 ・ホンソメワケベラの体の特徴を読み取る。	○ホンソメワケベラの体の特徴を読み取っている。	○本文と写真を照らし合わせながら、特徴を読み取らせる。

8 本時	○意味段落3 (形式段落8⑨)を読む。 ・ホンソメワケベラと大きな魚との関わり合いを読み取る。	○ホンソメワケベラと大きな魚が、お互いに役立っていることを読み取っている。	○それぞれの生きものになったつもりで、気持ちを吹き出しに書かせる。
	○意味段落4 (形式段落10)を読む。 ・海の生きものたちの関わり合いについてまとめる。	○登場した生きものの特徴や関わり合いについて、正確に読み取っている。	○今までのワークシートを振り返らせる。
まとめる	○「生きもの新聞」を作る。 ・「生きもの新聞」にまとめることを整理する。	○「生きもの新聞」にまとめることを整理して書いている。	○まとめるときのキーワードになる事柄を新聞に記入させる。
	○「生きものひみつ」を紹介し合う。 ・発表の練習をする。 ・小グループ内で発表し合う。	○友達にわかるように話したり、友達の発表に興味をもって聞いたりしている。	○発表の話型を示す。 ○質問や感想を言うときの話型を示す。

## 6 本時の展開 8 / 11

### (1) 本時の目標

○ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いを読み取ることができる。

### (2) 具体の評価規準

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する児童への手だて
読むこと	教材文をもとに、ホンソメワケベラと大きな魚が互いに役立っていることを読み取り、関わり合いを言葉でまとめている。	教材文をもとに、ホンソメワケベラと大きな魚が互いに役立っていることを読み取っている。	挿絵を提示し、教材文の接続語や文末表現に気をつけて読み取らせる。

### (3) 本時の指導における仮説との関連

〈仮説1に関わって〉

ア ホンソメワケベラと大きな魚が、それぞれ得をしていることを書くこと。

イ ホンソメワケベラと大きな魚の気持ちを考えて、吹き出しに書くこと。

〈仮説2に関わって〉

ア 学習技能として、接続語「でも」の意味や使い方について指導する。

イ 学習技能として、理由を説明する文末表現「・・・からです。」について指導する。

(4) 展 開

階段	主な学習活動	指導上の留意点（・） 評価の観点（◎）
つかむ 5分	1 前時の学習をふりかえる  2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">             ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読みとろう           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時にホンソメワケベラの特徴を読み取ったことを想起することにより、本時の学習への意欲を高めるようにする。</li> <li>・一斉読させることにより、本時の課題を確認させる。</li> <li>・ホンソメワケベラと大きな魚の様子に気をつけて読み取っていくことを指示する。</li> </ul>
	3 学習課題を解決する (1) 課題解決の見とおし ①学習範囲を音読する。 (P 74L 5～P 75L 7) (2) 課題解決のための読み取り ①ホンソメワケベラと大きな魚の様子を読みとる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べられないのはなぜかを読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホンソメワケベラの様子に気をつけて読むことができるようにする。</li> <li>・大きな魚たちは、ホンソメワケベラがきれいに口の中をそうじしてくれるのを知っているから、食べないということをつかむことができるようにする。</li> </ul>
ふかめる 30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「でも」の使い方に気づく。  <div style="text-align: center;">【仮説2 ア】</div> </li> <li>・ホンソメワケベラにとってよいことを読み取る。  <div style="text-align: center;">【仮説1 ア】</div> </li> <li>・大きな魚にとってよいことを考える。</li> <li>・理由を説明する文末表現に気づく。  <div style="text-align: center;">【仮説2 イ】</div> </li> <li>②ホンソメワケベラと大きな魚の気持ちを考える。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹き出しに書く。  <div style="text-align: center;">【仮説1 イ】</div> </li> <li>・発表をする。</li> </ul> </li> <li>③ホンソメワケベラと大きな魚の関わり合いについてまとめる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 10px;">             ホンソメワケベラと大きな魚は、たがいに「たすけ」合っているのです。           </div> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たんぼぼのちえ」での学習と関連づけながら、「でも・・・ありません。」の使い方を理解させる。</li> <li>・叙述に即して読み取らせ、ホンソメワケベラと大きな魚がいっしょにいるとよいのはなぜかを考えさせる。</li> <li>◎ホンソメワケベラが、得をしていることを書くことができたか。(ワークシート)</li> <li>・挿絵を参照させ、大きな魚にとって得になることを考えさせる。</li> <li>・「知っています。」と「知っているからです。」を比較させて、「・・・からです。」が理由を表す表現であることに気づかせる。</li> <li>・⑨段落の「そうじをしてとった虫が、食べものになるのです。」の叙述に着目させ、ホンソメワケベラもえさを手に入れて、得をしていることをつかませる。</li> <li>・ホンソメワケベラと大きな魚の気持ちを吹き出しに書くことにより、関わり合っていることをつかませるようにする。</li> <li>◎ホンソメワケベラと大きな魚の気持ちを考えて、文で表現することができたか。(ワークシート)</li> <li>・ホンソメワケベラと大きな魚が関わり合っている様子を身体で表現することにより、お互いに感謝していることをつかませるようにする。</li> <li>・本時で読み取ったことをもとに、ホンソメワケベラと大きな魚はどのような関わり合いをしているのかを、言葉でまとめさせるようにする。</li> </ul>

10分 まとめる	4 学習のまとめをする。 (1) 学習課題に対するまとめ ・⑧⑨段落を一斉読みする。  (2) 自己評価する。  5 次時の学習の見とおしをもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声に出して読むことにより、読み取った事を確かめることができるようにする。</li> <li>・本時の関心・意欲・態度について振り返り、満足感や成就感をもつことができるようにする。</li> <li>・海の生きものの関わり合いについてまとめることを知らせ、意欲づけを図る。</li> </ul>
-------------	--	--

(5) 板書計画

たがいに  
ホンソメワケベラと大きな魚は、  
合っているのです。

こうして

挿絵

知っているからです。

でも

食べられることはありません。

挿絵

サンゴの海の生きものたち  
ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読みとろう。